

株式会社マネジメントセンター

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 68-1 NEW108-202

TEL029-246-4671 FAX029-246-4672

URL:<http://www.isommc.com/>編集責任者  
松本幸雄

今月号より、マネジメントニュースが新しくなりました。中小企業様のお役に立てるよう、経営に関すること、ISOやその他の最新情報満載で皆様にお届けします！

## 経営戦略シリーズ1

「ビジョン・経営戦略とは」

### (1) 経営戦略の必要性

今回からシリーズで会社の業績向上に必要な不可欠な、経営戦略について基本的な内容の説明をしていきたいと思います。皆さんご存じのように、会社は毎日忙しく定型業務を実行するだけで経営理念・戦略がない会社は、業績は伸びないばかりか、大きな危険に直面してしまいます。

その理由は、会社の将来について何の夢も計画もない状態では成り行き管理の経営となってしまう、波風の動きに揺れ動いて進む方向のわからない「船」と同じだからです。あなたの会社では、会社の夢や進むべき方向性について、全社員が理解しているでしょうか？もし、それがなくても社員の力を十分に発揮していけるでしょうか？

### (2) ビジョン

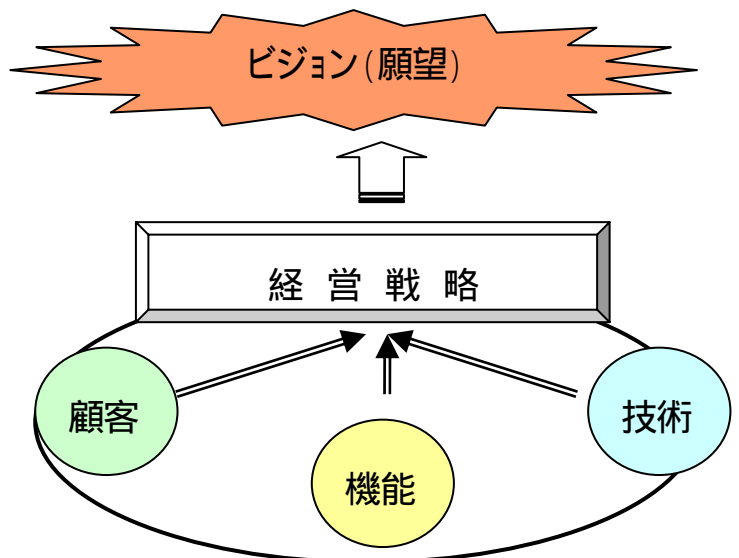
それでは、経営理念を考えると一体何から考えるのがいいのでしょうか。それは、会社の役割を明確にして、それを「使命(ミッション)」としてどんな会社であるかを定めることは、日常業務を遂行するときの基本的な考え方として必要になってきます。

そしてその役割や存在価値に基づいて、これからの会社をどうありたいかという夢を、「ビジョン」として明確にすることです。それは、従業員が働く意義を見だし動機付けするためにも大変効果的なことです。

### (3) 経営戦略

次に、「経営戦略」ですが、ビジョンだけでは、どのようにそれを達成するかわからないのでその道筋をつけて、わかりやすくしたのが戦略です。戦略には全体的な戦略と個別の具体的な戦略とに分かれます。最初に、全体的な会社の戦略を立案して中期計画や事業計画に落とし込みます。更

に、開発や営業など、個別の業務についてどのようにするかを決めることが個別の戦略となります。



### (4) 顧客

戦略に必要な要素として、最初にどのような顧客に対して自社製品・サービスを提供するかと明確にすることです。意外とこれが不明確な会社が多いのが実態です。全ての顧客を相手にすることは不可能ですし、意味がありません。特に中小企業では不可欠な要素となります。顧客のターゲットを絞ることは、自社の存在意義を明確にする第一歩なのです。

### (5) 機能と技術

次に、どんな機能をどのような技術で提供するかを決めることも大切なことです。すなわち、自社が何を武器にしてどんな満足を顧客に提供するかを定めることになるからです。この部分を明確にして、どんどん強くすることは、会社が存続・成長するためには不可欠な要素と言えます。あなたの会社で、全社員がそれを明確に自覚して業務をしているでしょうか。

# マネジメントシステムの Q&A

このコーナーでは、マネジメントシステムに関する質問事項などを受け付けて回答します。また、中小企業が抱えている問題点についても、解決できるヒントを考えて見たいと思います。

## 個人情報の保護管理者

Q

私たちは、現在プライバシーマークの取得に取り組んでいます。社員数が10名未満ですが、個人情報の保護管理者は社長が兼任しても良いのでしょうか？

## 社長の兼任はOKです

A

個人情報の保護管理者を、経営者が兼任する事は問題ありません。しかし、監査責任者と保護管理者が同一人物では認められません。また、委託社員や派遣社員など、他の組織の方を任命する事も認められません。但し、出向などの場合は問題ありません。

# 5月度のニュース

2007年5月の、環境に関する主な動きをご紹介します。  
(分野/公布日/主な担当官庁/内容/URL)

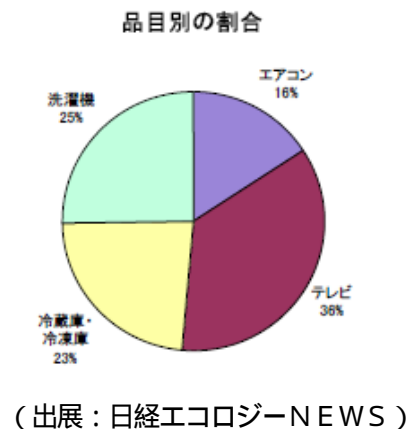
## リサイクル/5月11日/環境省

環境省は家電リサイクル法の施行状況を公表しました。2006年度における廃家電4品目の引き取り台数は合計約1162万台で、前年度とほぼ同程度でした。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8351>

## 大気汚染/5月18日/国土交通省

改正自動車NOx・PM法が公布され、大気汚染が特に著しい地区においては、ホテルや劇場などを建設する事業者に届け出が義務づけられました。



# 中小企業流 ISOの使い方

“ISOへの取組み”で、一番多く聞かれることは、「規格の内容が解かり難い」とのご意見です。

このコーナーでは、ISOに関する規格の疑問点を取り上げ、中小企業の皆様が使う場合の解釈などをアドバイスします。

ISOを取得している、これから取得するなどの中小企業様のお役に立てればと思います。

また、各企業様で気になっている規格などがありましたら、是非お聞かせください！

# 「規格の言葉は自社流に直す」

ISOの規格に取り組む際には、様々な文書を作ります。まず初めに“マニュアル”があります。その中に使う規格の用語がそもそも分からない事が多いのです。

「プロセス」とか「レビュー」などはその代表です。それらの言葉は、自社で分かりやすく編集してマニュアル作りを行なうと効果的です。特に現場に携わっている作業の方には、カタカナで書かれたマニュアルや手順書が出てきただけで見たくなくなるものです。

例えば「プロセス」は業務の単位や工程などを表しますので、『業務・工程』などと表現します。また、「レビュー」は『見直し』などと言い換えると分かりやすくなります。

## セミナー情報

# 内部監査員の成長は、会社にとっての財産です！

## 『ISO9001 内部監査員養成講座』

日時 2007年7月5日(木)・6日(金)

両日とも 9:30~16:30

場所 つくばカピオ(茨城県つくば市竹園)

費用 30,000円(税込み)

## セミナー内容(概要)

1. ISO9001の概要説明
2. 内部監査の概要説明
3. グループディスカッション
4. 修了テスト(修了証を発行します)



詳細は、当社渡邊までお問い合わせ下さい。

## ㈱マネジメントセンターの業務内容

ISO9001(品質マネジメントシステム) ISO14001(環境マネジメントシステム)

ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム) ISO22000(食品安全マネジメントシステム)

プライバシーマーク(個人情報保護マネジメントシステム) 社員教育研修(幹部社員教育)